

◇ 教員免許更新講習シラバス(選択領域分)

講座内容についての問い合わせ先…koushin@nara-edu.ac.jp(奈良教育大学)

| 講習名 | | 主な受講対象者 | 時間 | 講習形態 |
|--|--|---|-------|--------------|
| 小学校体育科の授業づくり | | 小学校教諭 | 6H | 講義 |
| 日程 | 定員 | 講師名(所属・職名等) | | |
| 平成29年8月25日(金) | 40人 | 高田 俊也(奈良教育大学・教授) 高橋 豪仁(奈良教育大学・教授) 井上 邦子(奈良教育大学・准教授) | | |
| 会場 | | | | |
| 奈良教育大学 | | | | |
| 【講習の概要】 | | | | |
| <p>小学校の体育授業において、「楽しい体育とは何か」や「子どもたちに体育を通して何を教えるか」という目標を踏まえ、その“何”をどのような形(方法)にして子どもたちに伝えるかを個人種目や集団種目を例に解説する。さらに、ボール運動・ボールゲームの理論(バルシューレ)からボールゲーム全体に共通する能力を様々なプレイ状況の中で身につけさせる内容についても言及する。また、間近に迫った東京オリンピック・パラリンピックをテーマに小学校の学習に取り入れる方法を検討し、その理解を深める。</p> | | | | |
| 【小テーマ①】 個人種目を対象とした体育の授業づくり | | | 1. 5H | (担当講師:高田 俊也) |
| 講習形態 | 講義形式 | | | |
| 講習内容 | 「楽しい体育とは何か」や「子どもたちに体育を通して何を教えるか」を踏まえ、その“何”をどのような形(方法)にして子どもたちに伝えるかを解説する。具体的には、跳び箱や鉄棒などの個人種目の教材を例に、どのように教えれば(教師のテクニック等)楽しさ体験に繋がるのか、また、どのような方法で教えれば良いのかについて考え、そのための知識や方法を追及していく。 | | | |
| 到達目標・確認指標 | 小学校での体育授業づくり、特に個人種目を対象とした授業づくりについて、理解を深める。 | | | |
| キーワード | 体育授業づくり、体育授業の目標、個人種目 | | | |
| 【小テーマ②】 集団種目を対象とした体育の授業づくり | | | 1. 5H | (担当講師:高田 俊也) |
| 講習形態 | 講義形式 | | | |
| 講習内容 | 個人種目と同様に、体育授業の目標を踏まえた授業づくりについて解説する。具体的には、バスケットボールなどの集団種目の教材を例に、どのように教えるのか、グループ編成について、また、どのような方法で教えれば良いのかについても考え、そのための知識や方法を追及していく。また、個人種目と集団種目の授業づくりの関係についても検討する。 | | | |
| 到達目標・確認指標 | 小学校での体育授業づくり、特に集団種目を対象とした授業づくりについて、理解を深める。 | | | |
| キーワード | 体育授業づくり、グループ編成、集団種目 | | | |
| 【小テーマ③】 ボール運動・ボールゲームのプログラム | | | 1. 5H | (担当講師:高橋 豪仁) |
| 講習形態 | 講義形式 | | | |
| 講習内容 | ドイツのハイデルベルク大学で考案されたボール運動・ボールゲームの理論(バルシューレ)を学ぶ。バルシューレは、特定の球技種目に特化した能力ではなく、ボールゲーム全体に共通する能力を様々なプレイ状況の中で身につかせようとするものである。 | | | |
| 到達目標・確認指標 | ボール運動にはどのような学習要素があるのかを理解し、特に小学校低学年におけるボール運動・ボールゲームのプログラムの作成ができる。 | | | |
| キーワード | バルシューレ、戦術、運動協調性、技術 | | | |
| 【小テーマ④】 オリンピックの歴史とオリンピズム教育 | | | 1. 5H | (担当講師:井上 邦子) |
| 講習形態 | 講義形式 | | | |
| 講習内容 | オリンピック・パラリンピックに関する歴史や理念について解説し、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、小学校の学習に取り入れる方法を検討する。 | | | |
| 到達目標・確認指標 | オリンピック・パラリンピックの歴史や理念について理解を深め、体育の授業等の学習に取り入れる方法を習得する。 | | | |
| キーワード | オリンピック、パラリンピック、オリンピズム教育 | | | |
| 試験方法 | 小テーマ①②③④:各講習の最後に10分程度の筆記試験を行う(①②は合わせて講習②の最後に20分程度)。 | | | |
| 成績評価の方法・基準等 | 提出された筆記試験をもとに成績評価する(①②50点+③25点+④25点=100点満点)。総合点で60点以上を合格とする。 | | | |